



大野北公民館 利用協通信

第34回 公民館まつり特集

「雨でも大成功！！」

実行委員長 小林利恵子

第34回公民館まつりが7月3～5日の3日間に加えて2日の前夜祭を合わせて4日間で4000名近い来場者を数え事業が終えたことを報告いたします。

今年はスタートを1カ月程前倒しして動き始めました。また準備の作業は日程簡略化に努め、かなり手伝い等の負担が軽減され、実行委員の評判も良好で有ったようです。受付もシール方式にリニューアルされ今回の大きな目玉になったような気がします。

また、今年は想定外の悪天候に見舞われ、特に屋外事業の采配に苦慮しました。今後に向けての課題を残した感がありました。展示部門のパネルの件も段取り良くスムーズにセッティングができました。

実行委員に館長はじめ職員、総勢40名のまつりスタッフに加えて大勢のお手伝いの方々のおかげで事故もなく終われました。疲れていても笑いが心に残って大きなイベントを終えられたことと微力な実行委員長を助けていただき感謝感謝です。今後もできる限り前向きで続けられることを願っています。



学習部門 「暮らしと命を考える講座」

親子劇場 柴田孝子

「公民館まつりでも学習会」と位置付けている今年のテーマは「遺伝子組み換え食品をご存知ですか？」を学習しました。資料を基に、なぜ組み換え食品が良いのかいけないのか。植物の生態系や企業の思惑など、50分間の講演のあと「納豆、豆腐は・・・」と知っている組み換え食品の話から、参加者の疑問、質問や考え方をそれぞれに出し合いました。「考える機会を与えてくれてよかった。今後も考えていかなければいけない問題なのでシリーズ化して行ってほしい。」との嬉しい意見も出されました。関心や興味のあることを取り上げながら、公民館の場で若いパパやママたちにも一緒に学習会ができるといいなあと思いました。



屋外部門 「空模様になげず」

青少指 榎並隆男

今年の屋外事業は、雨降りを気にしながらの運営となりました。土・日ともに何時、雨に降られるかわからない状態でしたので！ その分猛暑の心配は零で、両日ともに従来と同様に、多くのサークルの参加と昨年よりはるかに大勢の来場者(特に土曜日)とに支えられて、盛況でした。模擬店の食べ物ではポップコーン・綿菓子・かき

氷・フランク・焼き鳥・焼そば・揚げパン・スパゲッティが提供され、ヨーヨー釣り他の模擬店、母の会の啓蒙コーナー、バザー、フリーマーケットも賑わいました。



本年も「子どもまつり」をかねての屋外事業だったので“こどもたちの財布で楽しめる模擬店”をサークルにお願いし、多数の来客児童に楽しんでもらえました・・・結果として、担当した子ども達に、共同作業訓練の場を提供したと評価します。

日曜日は降雨が予想されていたので、参加申請



サークルと相談のうえ、3団体のみに屋内でのパフォーマンスをお願いし、幸いに、満員の盛況でした。屋内サークルの配慮に謝意を表します。

屋内部門 「ゆかた着付け体験」

和装同好会 河本明子

和装同好会は、ゆかた着付け体験教室で7月3日(金)に参加しました。朝10時には早くも小さいお子さん連れのお母さんがいらして、お孫さんにとおばあさんか買ってくださったゆかたを持参着ました。嬉しそうに写真を撮ったりする方が二組ほどいました。

また、韓国の学生さん、台湾の若い方もいらし

て着せてもらった浴衣姿で写真を撮ったりして嬉しそうにしていました。帯結びを習い、「盆踊りに自分で着たゆかたで参加出来るわ」など多くの方にゆかたを通じ、年代を超えて楽しんでいただけたことが良かったです。



芸能部門 「芸能のつどい」

吟詠会 高瀬信義

「芸能のつどい」は7月5日(日)に開催しました。当日はまだ梅雨が明けず、あいにくの雨天でしたが、観客も約200人くらい入場しました。出演者は利用サークル協議会の会員が19組、一般参加の方が11組、合計30組の方々が日ごろの練習の成果を披露され、観客からの大きな拍手を受けました。

演目もフラダンス、演劇、ウクレレ演奏、詩吟、ダンス、各種舞踊、舞踊銭太鼓、カラオケ、手話など非常にバラエティに富んだ演目で観客を楽しませることが出来たことはよかったですと思いました。



特に今年は従来になかった演劇、カラオケ等が加わったことが特徴です。

当発表会の実施については、利用サークル協議会の役員の皆さま、芸能部門実行委員会の幹事の仲間と3月頃からいろいろな打ち合わせ、準備を進めてきましたが、わからないことが多かったり、不慣れなためか気が回らない点多々あり、あまりスムーズな運営ができなかったことが残念であり反省点でもあります。

キッズ部門 「親子で遊ぼう会」

保育スタッフ 大橋千景

「親子であそぼう会」は昨年からはまったコーナーです。まつり1日目の午前中に行われました。でも今年は朝からあいにくの雨・・・「お母さんたち、来てくれるかしら」と話していると、赤ちゃんを抱っこしたり、小さい手をひきながら何と！15組30人もの親子が集まってくれました。

♪ととけっこう よがあげた♪わらべ歌が始まると子どももお母さんも笑顔がはじけます。

昨年、来てくれた親子、初めて公民館に来た親子、1時間たっぷりわらべうたで遊んだ後も帰るのが惜しいかのように、いつまでもおしゃべりを楽しんでいました。



〈スキンシップを促し、人への信頼が生まれる〉とされている「わらべうた」ですが、これはまるで公民館まつりのようではありませんか！！赤ちゃんから年配の方まで、地域の人々が集い・コミュニケーションを通じてあたたかな関係が生まれる。そんな思いを感じた雨の中の「親子で

あそぼう会」でした。

キッズコーナー担当

親子劇場 柴田孝子

今年のキッズコーナーは大会議室、コミュニティ室、和室の3会場に分かれ、木端細工・鉢カバー・オセロ・魚釣り・豆つかみ・理科で遊ぼうなどいろいろなコーナーが出されました。

また館外では青少年指導員のもと、ジュニアリーダーの子どもたちが綿菓子やかき氷など模擬店を出しました。たくさん子どもたちが参加してくれ用意した材料が足りなくなるコーナーも出たり、また模擬店会場では大勢の行列ができるほど大盛況でした。来年も多くの方々と共にキッズコーナーが作れたらいいと思います。



屋内事業 「今年もおいしくできました」

わかな会 淵野辺 大野みどり

「暑い時こそ熱いうどんを！」と毎年恒例の調理部門の各サークルの協力でうどんの販売をしました。当日は雨の予想でしたのでうどんを仕入れたのは良いが本当に売れるのか心配でした。

10時に食券を売り出すと開店前にもかかわらず、売れに売れ12時前には250食売り切ってしまいました。

皆さん暑い中、汗を拭きふきフーフー言って召し上がっていただき、特におつゆがおいしい

と、残すところなく飲み干してくださいました。
まつりで販売が決まった時から買い物に行くたび市内のスーパーなどを見て安くて良い材料をどこで仕入れるかチェックしていましたので苦労が報われました。
忙しくて楽しいうどん販売でした。



音楽部門 「音楽のつどい」

てふうきん 中里竹男

第34回音楽のつどいはいかがでしたか。
これはというお気に入りの曲はありましたか？
今年は出演団体も多く、三部構成になり、演奏時間も長くなり皆さんはお疲れになったかと思えます。特に今回、目新しいものとして日本の伝統音楽「越殿楽」等の演奏も加わり音楽の幅広さを感じさせてくれました。



打合せの段階では昨年の問題点を出し合い何とか解消できたものもありました。いつもこれで満足とはいきません。

皆様から頂いた貴重なアンケートの内容を反省し、次回の「音楽のつどい」に反映し、お客さん、出演者がともに楽しめる「おおのきた公民館まつり」にしていきたいと思えます。

震災義援金募金の結果について

(公民館まつり実行委員会)

まつりの期間中、東日本大震災およびネパール大地震の義援金募集を行いましたので、結果をご報告します。

◇募金箱には13,810円、体験教室、バザー等からは23,530円(内訳は利用協バザー5,000円、ゆうゆう押し花13,820円、パソあそ2,710円、おやこ劇場2,000円)合計37,340円の募金を頂くことが出来ました。この募金は、大船渡市役所およびユニセフ(ネパール支援)にお送り致しました。ご協力有難うございました。



後記

公民館まつりの無事終了を感謝

新年度は準備を前倒しで3月から始まり、すぐに公民館まつりの話し合いや各実行委員会の開催、二部制との案も昨年の反省にありましたが今年は従来通りの日程で進めました。

大きく、いや少し進歩したのは準備の日数、手伝いの日数の短縮と各部門内での自主でした。日数が少なくとも集中して作業をして無事当日を迎えることが出来ました。

まつりが終わってやれやれもつかの間です。

今後はバス研修、大掃除、クリスマスイルミネーション点灯式のお手伝い、そして1月から次の年度の準備。課題は山盛りのようですが、私にできることは少なく皆さんに助けていただき、ついでいこうと思っています。よろしく願いいたします。

(編集者)